

## 第5回 まちづくり常任委員会会議録

平成30年9月3日(月)  
委 員 会 議 室

### ○会議日程

- 1 開会宣告(13時00分)
- 2 調査事項
  - (1) 建設管理課所管
    - ①町道幌延下沼線道路改良事業における取付道路横断管布設替工事について
  - (2) 教育委員会所管
    - ①平成29年度幌延町教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について
- 3 その他
- 4 閉会宣告(13時38分)

### ○出席委員(8名)

委員長	3番	斎賀弘孝
副委員長	4番	無量谷隆
委員	1番	富樫直敏
委員	2番	西澤裕之
委員	5番	鷺見悟
委員	6番	吉原哲男
委員	7番	高橋秀之
委員	8番	植村敦

### ○出席説明員

町長	野々村仁
副町長	岩川実樹
総務財政課長	飯田忠彦
建設管理課長	島田幸司
建設管理課技術長	植村光弘
上下水道係長	宮下勇人
農村整備係長	桜井丈久

教育長	木澤瑞浩
教育次長	伊藤一男

### ○議会事務局出席者

事務局長	藤田秀紀
主事	満保希来

( 1 3 時 0 0 分 開 会 )

齋賀委員長

ご着席ください。ただいまより、平成30年度第5回まちづくり常任委員会を開会いたします。

本日の委員は全員出席でございますので、よろしく申し上げます。

最初に野々村町長よりご挨拶をいただきます。

野々村町長

それでは、第5回まちづくり常任委員会開催前に一言御挨拶をさせていただきます。

臨時会の後、引き続きまちづくり常任委員会、大変御苦労さまでございます。

9月18日、定例会に向けてのそれぞれの案件の説明とまた、今日の案件は2件ほどですが、他にも、その他で2件ほど、情報提供等ございますので、よろしくお願いをしたいと思います。

また、本日私が常任委員会最後まで出られませんので、この御挨拶をさせていただいた後、欠席となります。東京へ台風めがけて行ってきまして、明日の夜中には帰ってくるというハードスケジュールで移動させていただきますので、御了承いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

この後、即、退席をさせていただきますので、御勘弁ください。

齋賀委員長

それでは、早速、本日の調査事項に入りたいと思います。

まず最初に、建設管理課所管、農業用水道の補修についてであります。

これについて説明を求めたいと思います。

島田建設管理課長

それでは、私のほうから農業用水道の補修について、概要をご説明させていただきます。

今年度に入り、問寒別地区農業水道利用組合で管理をしていただいております、問寒別西地区の農業用水道で、漏水をしているとの連絡を受けました。

利用組合の方々と建設管理課の職員により、現場にて調査を行い、漏水箇所を発見・復旧をいたしました。他にも同じ管路で漏水している所がある疑いがあったことから、引き続き、調査を進めた結果、漏水区間の特定がされました。

これら漏水作業の経緯や今後の進め方などについて、担当の宮下係長よりご説明させていただきます。

宮下上下水道係長

それでは説明させていただきます。

4月20日に問寒別農業水道利用組合のケナシポロ地区の配水流量が通常より1時間当たり約10立米多い状態だと管理人の尾内さんより報告を受け、調査を実施し、大まかな範囲を絞り、24日に再度区画割し調査を実施致しました。

ゴールデンウィーク明け5月9日CFTから中間寒別神社の間での区間の探索した結果、中間寒付近の伏越管からの漏水を確認致しました。

翌日の10日にその漏水を修理完了後、神社までの配水量が時間当たり約4立米となりました。組合のほうとも相談した結果、給水について問題が無いため、経過観察と致しました。

6月15日ケナシポロ地区末端の佐藤さん宅の水道の出が悪いと連絡を受け、6月16日

バルブの開閉操作し、漏水調査した結果、山口地先～吉原地先、約300メートルの間で、配水流量の変化があることから、漏水があると予想しているところであります。

これらの経費については、9月議会への補正予算をお願いしているところであります。

なお、斎賀議員からのご指摘のありました末端の佐藤さん宅の水圧不足につきましても、今回の修繕で解消されればと思いますが、解消されない場合は、今後、更に原因究明し、対応していきたいと考えています。

以上、農業水道の補修について、説明させていただきました。

斎賀委員長

ありがとうございました。では、ただいまの件について、何か委員の方から、質問意見がありましたら、指名を受けてから発言をしてください。

植村委員

この配水管というのは、いつ頃設置されたものなんですか。

植村建設管理課技術長

この配水管は、昭和58年に設置されております。

植村委員

58年ということになれば、大体いいとこ過ぎてると思うんですけども。

先ほど最初の漏水箇所発見が伏越しということなんで、大体こちらも経験上、そういうところから漏水が始まるなと思ってます。

伏越しっていうのは、かなりな件数あるんでしょうか。この管路に関しては。

植村建設管理課技術長

数のほうは把握はしておりませんが、ある程度あると思います。排水推移を橋梁の場合は添架してるんですが、小さい排水についてはほとんど伏越が多いのかなという状況です。

植村委員

ケナシポロの浄水場っていうのは、今改修やってるところなんですか。

植村建設管理課技術長

ケナシポロ地区の浄水場についてはですね、これも昭和50年ほどに設置されて造られているんですけども、今現在新しく道営でやっているのはですね、上間寒地区のほうに作っています。

植村委員

場所、勘違いしてました。わかりました。

先ほど、2回目の漏水箇所が大体、区間的に限定できたということなんですけども、恐らく、こういった漏水事故というのは、次から次と来るのかなっていう気がしているので、ある程度計画性をもって、伏越しの点検等、管の入れ替え等も考えておかなければ、なかなか漏水が収まらないのかなと。特に夏場はね、良いですけども。冬場にこういう事故が起きると、工事屋さんもそうですけど、管理者が大変な苦勞をしますので、ある程度点検が必要なのかなっていう気がするんですけど、その辺はどう考えてるんでしょうか。

植村建設管理課技術長

一応、農業水道については、維持管理は組合さんのほうにお願いはしているんですが、その中で、配水量とか、そういったものは、毎日行ってるのと、1週間に2、3回というところもあると思うんですが、その中で配水量の異常だとか、そういったものを毎日記録し

ておいて、異常があれば、役場のほうにすぐ連絡が入るところで、常時管理してはしている。

あと、うちのほうもですね、巡回だとかそういったものもやりますが、なかなか草わらの中は、入っては行かれないので、そういうところは疎かになるのかなと思いますが、管理上としては、組合さんのほうの情報提供といったもので行っております。

斎賀委員長

いいですか、植村委員。

(植村委員「はい」)

無量谷副委員長

昭和58年ということで、年数が経っているですけど、これらについて、今度は新しい水道、これから道営事業やるんですけど、これらの改修もやるのかやらないのか。

それと、もう1路線。反対側の東側、それらについての路線の連絡というような繋がりは今現在持っているのか、持っていないのか。その辺確認しておきたいと思います。

桜井農村整備係長

農業のほうでお話ししたいと思うんですけど、今の道営の間寒別地区ということで、営農用水事業を実施しております。

先ほど技術長も言われたとおり、既設管についても、入れ替えという形で今進めておりますので、平成32年、33年頃には浄水場も含めて、既設管の改修等を完了させるということで今計画を持っています。

今、無量谷議員から御指摘のあった件につきましては、上問寒から水源を持ってきて、中間寒に中継基地として、配水地をもう1ヵ所設けるようにしております。そこからは、今言った反対側。名前で見ますと、前田さんですとか、向こうのほうにはその経路で持って行くと。もう一方は、斎賀さんのところに大きな橋があるんですけども、あそこを横断して、先ほど技術長が言われたように、加藤さんですとか、山口さんですとか、向こうのほうに給水していくと。ケナシポロについても、途中からケナシポロのほうへ。道営の営農用水事業で、間寒別地区を包括して、整備を進めております。

なかなか事業費がつかないんで、管理のほうについては、水道のほうに大変御苦労かけてるんですけども、急にすぐできないんで、やっぱり途中では、補正等をお願いしてですね、修繕はやっていかなきゃならないのかなと。同時進行ですね。そういう形で今進めております。以上です。

無量谷副委員長

そうしたらね、今、漏水箇所というか、吉原さん、台川さんの路線ということで、これ新たに改良されてなるのか。その辺確認しておきたいんですけど。末端のほうも調整もできるのか。この辺、泥炭地ですごく段差の激しくなるところでないかなと思うんですけど、このパイプを見ると、今現在塩ビパイプでないかなと。VMPだから。これらのポリパイプ方式にできないのかなと。

桜井農村整備係長

今、御指摘のあった千葉さん方向、山口さん方向ですね。あちらについても、今、営農用水事業で改修を予定はしております。ただ、水量に対して関係が間に合うところについては、特に何も必要がなければ、既設管を使うということになっておりますので、農業の末端二戸

にこの手前、要するに、台川さんところまでは、改修予定ではいくんですが、その先については、町の単費ということで、施工する予定にしております。それについては、来年度、上幌開進も末端一戸の測量調査実施しております。それで、末端一戸については、町の単独事業で調査して、管径が少なければ太くして、整備を進めていくという形で今進めております。

それで、ポリパイプの関係なんですけども、耐震化の関係もあって、この地区については、ポリパイプまでもなくて、塩ビ管でも耐震してるような管がありますんで、それで今進めてはおります。以上です。

斎賀委員長

他に委員ありませんか。

(一 同 無 言)

ではないようですので、この件についてはこれで閉じてよろしいですか。

(「はい」の声あり)

あとまた、建設管理課のほうで、水道の補修についてよろしくお願ひしたいと思います。以上をもちまして、農業用水道の補修についてはこれで閉じたいと思います。ありがとうございました。

委員の皆さんその場で休憩してください。

(13時14分 休 憩)

(13時20分 開 議)

それでは休憩を解いて会議を再開します。

続きまして、調査事項2番、教育委員会所管 「平成29年度 幌延町教育事務の管理及び執行の状況にかかわる点検、評価について」であります。これについて説明を求めたいと思います。

伊藤教育次長

それでは、「平成29年度 教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価について」ご説明させていただきます。

本案件につきましては、平成20年度分から実施しているもので、今回で10回目となります。

例年12月に提出させていただいていたものなんですけれども、決算審査の時期が9月ということで、今年度から9月に提出させていただければと思います。よろしくお願ひいたします。

それでは、平成29年度、幌延町教育委員会点検・評価報告書をご覧ください。

平成29年度の評価にあたりましては、前年度と同様の方法で行っております。全体を21頁でまとめており、18頁から外部評価委員の意見を載せさせていただいております。表紙の次が目次となります。

1頁から2頁にかけて、「はじめに」ということで、前回同様に点検評価の趣旨等を記載しております。

次に、3頁をご覧ください。第1 教育委員会の活動状況として、1で教育委員の名簿、2では教育委員会議等の開催状況等を載せております。3の教育委員会議案、報告・審議内容につきましては、10回の会議内容を3頁中段から5頁中段にかけて記載しております。

5頁中段から6頁上段にかけて、4として、教育委員の主な活動状況を載せており、その

下から7頁中段にかけて、5の教育委員会関連委員会の活動状況、7頁中段から6の教育委員会が交付した補助金の一覧を記載しております。

次からは、用紙が横版になります。

第2 平成29年度教育委員会点検・評価書です。

8頁から13頁までが学校教育に関する記述、14頁から17頁が社会教育に関する記述となっており、学校教育、社会教育併せて14項目44事業について、点検評価し、成果と課題を載せております。

そして、18頁から21頁までが、第3として、点検評価に関する外部評価となります。

8月6日と20日の2回、外部評価会議を開催し、富士元委員、高木委員のお二方からご意見をいただき、掲載しております。

お二人の意見ですが、富士元委員からは、1点目 教育委員会活動状況についての意見として、教育委員会議では必要に応じた内容の開催で、適切な報告と審議がなされているということ、活動状況についても積極的な活動が認められるということ、関連委員会の活動状況も必要に応じた開催で、適切な運営推進が行われているということ、交付した補助金についても事業の円滑な実施・運営に必要なもので、適切であったというご意見を頂戴しております。

次に2点目、主要施策事業については、各校が教育目標に向けた活動を実践し、個別事業も多岐にわたり取組んでいたことを高く評価するという、「確かな学力の向上」での幌小の2名加配によるTTの授業指導は学習成果につながる良い取組みであるということ、学習成果の活用による学力向上プランで、日常学習における改善方法と工夫を図り、実践したことも良い取組みであったということ、「豊かな心の育成」では、道徳や奉仕活動等が推進・実践されており大変好ましく、今後も継続して取り組んでほしいということ、「健やかな体の育成」では、衛生管理の徹底等により安心安全な学校給食が提供されているということ、体力向上プランの作成と実施等の取組みは、体力の向上と健全な体の育成に繋がる良い内容の事業だということ、「特色ある教育の推進」では、小中併置による9年間の一貫指導で、小・中教員による授業交流等は、今後が期待される事業と思われるということ、情報教育と国際理解教育の推進は、これからの情報社会に役立つ実践的な内容であり、ボランティア教育、総合学習と併せて高く評価したいということ、「学校教育の充実」では、関係機関や地域との連携等により、子どもたちが安心して学校に通える環境づくりに尽力しているということ。

社会教育では、29年度も芸術・文化、スポーツ等多様な内容で、幅広い年齢層を対象とした事業等を実践しており高く評価するという、「幌延を知るための学びの場づくり・学習機会の提供」では、ナイトハイクが良かったということ、野外で遊ぶことが少なくなった子どもたちにとって自然と触れ合える行事は、とても良い情操教育になるので季節毎に幌延の自然に親しめる機会の提供を望むということ等のご意見を頂戴しております。

そして、「(3)総合的な点検評価について」では、教育委員会による点検評価報告書が、活動、事業、評価と課題についての内容が簡潔にまとまっておりわかりやすく、継続される事業が目標に向け、一層推進されることを期待したいということ。

続きまして、高木委員からは、まず、1点目「教育委員会の活動」に関しては、委員会活動に積極的に取り組まれているということ、学校事業や地域社会教育グループへの補助事業

を通じて、地域社会が一体となった教育支援やスポーツ育成事業に貢献しているというご意見を頂戴しております。

2点目「主な事務事業などの点検評価について」では、個に応じた指導方法工夫改善で、幌小において2名の加配によるT・Tの充実で、個々に応じたきめ細やかな指導ができており、次年度以降も2名の加配を希望するという、朝活事業が3年目となり、プログラムの充実、一層の定着が図られ、基礎学力と生活習慣の向上に貢献しているということ、全国体力運動能力等調査の分析により、体力と運動能力の向上が図られているということ、「特色ある教育活動の推進」では、小中併置による9年間の一貫指導を目的として、小中教員の授業交流や乗り入れ授業が行われ、相互のコミュニケーションやアクティブラーニングの活用が図られていること、「情報教育の推進」では、教育用デジタルコンテンツやテレビ会議システムが導入され、遠隔授業や視覚に訴えるわかる授業に取り組んでいることが評価できるということ。

チャレンジ事業やワラベンチャー事業など、町の自然を活用した独自の誇れるプログラムの継続を望むということ等のご意見を頂戴しております。

また、先日ご逝去された、森崎登代子氏へ哀悼と感謝の意が表されております。

3点目「総合的に」では、点検評価報告書は、執行方針要点毎に整理されており、今後とも適切な情報公開を期待するのご意見を頂戴いたしました。

頂戴したご意見・ご助言は、今後の施策に活かして参りたいと存じます。また事業の方向性につきましては、すべて継続としておりますが、個々の具体的内容は、適宜見直しをしながら、進めて参りたいと考えております。

以上、平成29年度の教育事務の管理及び執行の状況に係る点検・評価報告書の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

斎賀委員長

ありがとうございました。

点検それから評価の報告書をいただきましたが、何かお尋ねしたいことがありましたら、委員皆さん、指名を受けてから発言してください。

無量谷副委員長

問寒別地区の中学生が、人数が少ない状況であるんですけども。同級生がいないっていうような形になると、子どもが大人になってから、小さい学校を卒業しましたってなるんですけども。そういう面では、近くにある学校がいいのかなという感じはするんですけども、やはり友達が将来いないっていうようなことになると。今後、少ない人数でも、問寒別は成り立っていけるとのかを聞きたいと思います。そして、中学生が多く集まる幌延町に集めて学習するっていうような方向性があるのかないのかその辺も検討するべきでないのかなという感じがします。

その辺、教育長さん、今後どのようにやっていくのか。その辺聞きたいと思います。

木澤教育長

どのようにやっていくっていうか、今回の29年度のを踏まえて、1つこういう結果が出たということで、それで高木委員さんの評価にもありましたけども、現在その状況で続けていく中で、これから児童数は少しずつ増えていきます。

今現在、私になってから実施しているのは、まず遠隔事業を教科で1年を通して、幌中の

教室と問寒の教室を繋いでやっていくと。要するに教科で補えない部分ですね。それから部活道については、年間スケジュールを組んで、バスでこちらに来て、土曜日に練習を行ったり。それだけじゃなくて、体育等の事業においては、午前午後教科と、学級活動ありますけども、給食を含めて、1日とか半日来れるような状況で、何回か計画して交流事業というか、一緒に学ぶ事業を行っております。

友達が成り立っていくか成り立っていないかというのに関しては、私のほうから成り立たない成り立つということは、答えることは、差し支えてさせていただきます。どちらとも言いませんので、もしよろしかったら議員の意見もお聞かせ願えればと思っております。

結局、お聞きしたいことは、率直に言えば、今後中学校統合するののかもしないのかということでしょうか。私はそのことに関しては、まだ何もこうする、ああするということは申してませんが、今までの状況から聞いて、事を継続して、存続で学校はやっていく、地域に学校残していくっていうことを私は引き継ぎを受けて、継続しているんですけども。そのような話題がいろんなところ出たり、なっていくのであれば、私もいろんなところから情報を得て、今後のことも更に考えていかなきゃいけないかなと思っております。

答えになっておりませんが、2点目の多くのつていうところちょっともう一度お手数をおかけしますけども、質問を聞きとれなかったものですから、よろしくお願いします。

無量谷副委員長

今後ね、友達っていうか、そういう絡みもなかなか子供の少子化ということもありますけども、こっちの中学校、あるいは統合するような形で、常に友達がいるというような環境になれば、良いのかなって考えています。今の段階では、独立してやるということですけど、本当にいつまでこうやって少ない人数でやっていかなければならないのかなと。ある程度、目途として、どのぐらい人数なれば、規模を下げて、統合を考えていかなければならないのかなっていう気もしているんですけど、その辺を検討する段階においてね、今なんだかんだやれって言うわけでもないんですけども。本当にこれで形で世かのかなという部分も疑問に思っている部分もあるんでその辺ちょっと聞きたかったんですけど。

木澤教育長

今まで皆さんが疑問に持ってやってきたということで、8ページをちょっと見ていただけますか。

今後の29年度から35年度の間寒別小学校と問寒別中学校の児童数、生徒数について記載してるんですけども、現状よりは若干増えていくという傾向にあります。過去、もう1つ、1番最初の御質問ですけども、何名になったら、統合なのかっていうのは、基準的なものはありません。1人であっても、学校は、設置することができますので、御承知おき願いたいと思います。

それから先ほどなんですけども、いろんな交流という意味では、2年前から修学旅行は、最低限一緒にやってくださいということで、やっとなんですけど、今年ですね、学校全体両方とも理解していただきまして、去年からですね、交流それから修学旅行の準備等含まえて小学校も中学校もですね、初めてですね、一緒に修学旅行を実施できて、両方ともですね、先生が子供たちからは好評であったということで、そういう意味でも、町の中の学校の友達と一緒に活動は、部分的なと言われれば、それきりですけども、いろいろな活動を以前よりは多く取っているところです。ちょっと回答になっているかどうかわかりませんが、少しずつで

すが、そのような大人数って言うんですか、多数との学習を進めているところでございます。  
無量谷副委員長

そのような形で、できるところだけでも良いから、交流するのはとてもいいことでないかな  
と思っております。その辺もちょっとわからない部分もあったんで、聞きなおしました。あ  
りがとうございます。

齋賀委員長

他にありませんか。

吉原委員

今、無量谷委員の意見を聞いていてね、私達、昭和30年代の子ども達。これも小学校は  
各地区にありました。浜里、南沢、上幌、安牛、雄信内。でも、中学校になると、あの頃は  
汽車通ということで、雄信内の幌延川のほうからずっと上幌までは幌延に来てましてね。そ  
して、南沢も幌延に来てました。下沼だけは、下沼に小中学校、それと浜里も小中学校でし  
たよね。つまり、学生が少なくなってしまうと、無量谷君も言ったとおり、やっぱり将来的  
に同窓会やろうと言ってもほとんどいないんですよ。その後、また寂しいものが、あるの  
かなど。あるいは、多くの人でいろんなものを競い合いながら勉強するのも、1つの方法だ  
なということで、あまりにも少なくなりすぎると、この辺で見ると、小学生がそこそこいま  
すから、何年かしたら、この子たちが、中学生になれば、生徒数も増えるのかなと思いま  
すけれども、今の現状を見ると、昔の汽車通みたく、中学校だけでもバスでこっち来ても良い  
のかなと思うんですけども。その辺は、教育委員会でどのように考えているのか。

木澤教育長

私がどうこうというよりはですね、それは時間的なもので言えば、議員御承知のとおりと  
おり問寒別の1番奥とは言いませんけど、通学区で、板垣さんがこれから帰ってきて、奥さ  
んとかも、もし出来て、通学するとすると、バスで問寒まで出てきてから、汽車は別として、  
スクールバスできたとしても、大体1時間。通学に関する片道1時間以内ってということで、  
統合の基準になっていますので、それらも考えなければいけないのかなと思っております。  
現在は、町に住んでいる子どもたちだけです。逆に言えば、皆さんの先を読んでって  
いうならば、そういうことも踏まえていかないといけないのかなと思っております。

それと、今回2人の議員さんからという御意見をいただいて、それであれば、逆に問寒別  
の皆さんと地域の皆さん、保護者含めて、そういうことに関してもですね、今までやって  
きた私が来るまでやってきたかどうかわかりませんが、その辺も御意見を聞いて曖昧にし  
ないで、今後の5ヵ年10ヵ年というところを進めなければいけないとも、今感じていると  
ころです。

齋賀委員長

他に委員ありませんか。

ではないようですので、以上をもちまして平成29年度幌延町教育事務の管理及び執行状  
況に係る点検評価について閉じたいと思います。どうもありがとうございました。

3、その他ありませんか。

なければ、では以上をもちまして第5回まちづくり常任委員会を閉じたいと思います。

(13時38分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 齋賀弘孝

以上、記録する。

主事 満保希来